

実践・森づくり技術講座（第1回）

【開催日】2019年4月20日(土)

【開催場所】鳩ノ巣フィールド（奥多摩町棚沢）

【主催者】FIT 森林塾

【一文紹介】

森づくりに欠かせない様々な技術を基礎から学ぶ全5回の連続講座の第1回。今回は「森づくりとノコ・ナタの使い方」をテーマに、4月21日に開催しました。

【公開記事】

穏やかな春の日差しのもと、いよいよ今年度の「実践・森づくり技術講座」がスタートしました。当日は、鳩ノ巣の山々の木々の芽吹きも目に心地よく、寒くもなく暑くもなく、虫に悩まされることもない、まさに技術講座開講日にふさわしい講座日和となりました。

開講式では、服装や作業道具の取り扱いなどの安全面についての説明、また技術講座は単なる森づくりの技術の習得の場ではなく、今後、受講生が森林インストラクターとして活動するための学びの場でもあるとお話しもありました。

フィールド案内では、鳩ノ巣フィールドの概要から活動の基本的な考え方、これまでの活動の経緯などの説明がありました。フィールド案内後は、森林作業に必須となる手元ロープを受講生1人1人に作成してもらいました。アイスプライスによる末端処理では皆さん苦勞されていましたが、その分ロープに対する愛着も深まったのではないのでしょうか。

昼食後は、いよいよノコとナタの使い方の講義と実習です。実習では手鋸を使つての玉切り、下切とナタを使つての杭作りを行いました。ナタの使用は初めてという方も多く、おっかなびっくりという様子でした。

次に、ロープの種類と基本的な使い方、結び方の説明を受け、作成したロープを使用して材木の運搬実習を行いました。

下山後は、使用したノコ・ナタの手入れを行いました。ナタについては砥石を使用しての手入れということで、なかなか難しかったようです。手入れの際にも、最後だからこそ気を抜かず、安全面にしっかり配慮をするようにとの注意がありました。

閉会式では、受講生より、道具の扱い方の難しさ、また作業については、習うより慣れよという心構えで臨んでいきたいなどの感想がありましたが、皆さん、鳩ノ巣で充実した一日を過ごされた様子でした。講師からは、山仕事は体力勝負ではなく、知的作業で、しっかりと理論的な裏付けを身につけ、何よりも楽しみ方、楽しませ方を学んでほしいというコメントを頂きました。

【スタッフ】講師 小島、関、事務局 芝原、永野

【参加者】受講生7名

【報告者名】永野 修 (29)

【報告写真 6 枚】



開講式



フィールド案内



手元ロープ作成



ノコ実習



ナタ実習



材木の運搬実習